

暑い夏休みは札幌から高速バスで長沼往復でした。今回の自動車運転は体力的にきつい長沼行きでしたが、思い出多い一泊二日となりました。ありがとうございました。わずか一か月で最北の地は秋めいてきました。長沼のある道央も肌寒さを感じるころでしょうか。しっぽの会の皆様におかれましては日々、犬猫のためにご多忙の毎日と拝察いたします。

クマが旅立って以来、一緒に散歩をしていた近所を歩くことができないでいました。また朝夕、飼い主と楽しそうに歩く犬たちを見る度、悲しい気持ちが続いておりました。起床後の時間の使い方、夕方の過ごし方。クマの晩年は介護の毎日でしたが充実した密度の濃い日々でした。月ごと、日ごとと体力が落ちていく様子を観なければならぬのが辛かったですが、クマ自身が一番つらかったと思います。そり犬として活躍した日々を思い出しその夢を見ていたのか、横になったまま足を動かし、骨と皮となった後ろ足は毎回床ずれが出来ていました。何度か治療をしてもその繰り返し。夜は3時間毎に体の向きを変えてあげることが出来ましたが、昼間は仕事で叶いませんでした。

「自分が旅立ったら親方が悲しむ。」そう思って頑張ってくれていたのだと思います。そうした日々が3年間続きました。

最後の夜、苦しそうな様子を見て頭を撫でてやって「自分は大丈夫だからサハリンの父さん、母さんの元へ帰れ。」と言ってやりました。それが最後になりました。

退職後、内地へもどらなければならぬので火葬をお願いしました。曇り空でしたが、窯に火が入った瞬間、雲が切れ眩しい太陽が顔を出しました。煙突の淡い煙を見たとき思わず「クマありがとう。」と声が出ました。その時生暖かい風を感じクマが「親方ありがとう」と言ってくれた気がしました。

もう犬を飼うこともないだろう。散歩も・・・。

バルを迎えた翌日、勇気を出して一緒にその道を散歩をしました。途中で出会った見覚えのある顔、犬たち。懐かしい皆さんとクマの思い出話をする事が出来ました。また、かわいいバルの仕草をみて以前の散歩仲間に戻ることが出来ました。散歩中、まだ小生はクマのことを思い出しているところです。バルもまたお世話になった皆様方を散歩をしながら思い出しているのかもしれませんが。これからのバルとの楽しい毎日が長く続くことでクマのことが心の奥に大切にしまわれていくのではないかと考えております。

初めてバルを見た函館保険所の写真はガリガリの様子。しっぽの会の写真でふっくらしてきたのを見て、長沼へやってくるまでどのくらい辛い思いをしていたのだろうかと思っしまいました。一度予約が入った時は良かったなと思ったと同時に縁がなかったとさびしくもありました。その後テレビで元気な姿を見て、もしかすると家族に慣れるかもしれないとも思ってしまいました。

願わくば、バルが函館での飼い主さんと過ごした期間、お世話になったしっぽの会での生活を合わせた以上の時間をバルと一緒に過ごせたらと小生は願っております。

さて、現在のバルの様子です。

- ①畜犬登録完了
- ②狂犬病予防注射終了
- ③動物病院にいただいたバルの診断結果を伝えました。
- ④ガイア動物病院へ連絡、服用中の薬を送っていただき現在も投薬治療中。近々、甲状腺検査を行い結果を送付しアドバイスを頂く予定。

⑤週末、犬の床屋で体を洗ってもらいます。

⑥朝、夕の散歩は毎日継続中。

⑦餌は、ヒルズを購入しましたが今一つでおやつ感覚で少しずつあげています。よってしっぽで食べていたアレルゲンカットを再度購入与えております。(よく食べます。)

⑧生活空間

- ・昼間天気の良い日はベランダに置いたケージ。
- ・夜は玄関の中
- ・5年前までいた犬が使っていた犬小屋をリホーム中。休日を使ってやっていますが時間がかかっております。バルが気に入ってくればいいな

⑨その他

- ・戸を開ける音などに反応せず熟睡している所を見ると耳の聞こえが悪いのかもしれませんが。外耳炎の影響か
- ・目も少し見えにくくなっているのかもしれませんが。(上記2点は素人判断ですが)
- ・来た当初は*8.しばらく様子を見ていたようですが、だいぶ慣れてきて、ワンと散歩を催促したり。バルと呼ぶと尻尾を振ってくれたり、飛びついてきてくれるようになりました。

P.S 10/28 シャンプーをお願ひしました。
10/22. F174の検査 10/29 届きました。